

(1)

絵画コンクール「市の木・市の花・市の鳥」優秀賞



真鍋小学校
2年 中嶋 悠喜さん



土浦第二中学校
8年 武井 颯汰さん



真鍋小学校
3年 五十嵐 美生さん



真鍋小学校
1年 新関 大翔さん

54号

令和5年2/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553



第36回
二中地区文化祭

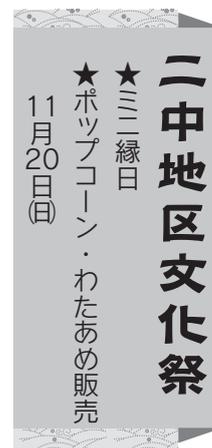




わたあめ販売



ミニ縁日



令和4年度市民委員会専門部事業報告

専門部	月日	事業内容	備考
福 祉 部 主な担当事項 地域福祉への参加協力 ふれあいネットワークへ参加 協力	8月	窓愛園の夏祭りへの参加・協力	コロナウイルスの影響により参加中止
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
	1月	福祉映画鑑賞会	
	2月	社協真鍋支部との合同研修会	
	年4回	会食型食事サービス事業への協力	実施中
	年6回	ふれあいネットワークへの協力	実施中
			合同視察研修
安 全 部 主な担当事項 交通安全思想の啓発 防災防犯活動の推進	毎月第2火曜日	防犯パトロール（真鍋地区）	実施中
	4月	真鍋の桜を楽しむ集いへの参加・協力	コロナウイルスの影響により中止
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
ス ポ ー ツ ・ 健 康 部 主な担当事項 各種スポーツレクリエーション活動 健康づくり 健康教室	8月	なでしこラジオ体操協力	コロナウイルスの影響により中止
	10月	市民体育祭参加協力	コロナウイルスの影響により中止
	11月	バスハイキング事業	コロナウイルスの影響により中止
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
	2月	土浦二中地区歩く会協力	コロナウイルスの影響により中止
環 境 部 主な担当事項 ゴみの減量化資源化運動 環境美化 水質浄化運動 花いっぱい運動	5月	花いっぱい運動・グリーンカーテン運動	5月～12月実施
	10月	環境展協力	10月15日実施
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
	11月	ポイ捨て防止看板作成・設置	
	12月	花いっぱい運動プランター片付け	
青 少 年 育 成 部 主な担当事項 非行防止キャンペーン 地域と学校との連携強化 親子教室 講演会 など	年9回	チャレンジクラブ事業への協力	実施中
	7月	あいさつ・声かけ運動参加	コロナウイルスの影響により中止
	11月	あいさつ・声かけ運動参加	11月1日実施
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
文 化 広 報 部 主な担当事項 広報紙の発行 文化講演会等の開催 公民館講座への参加推進	9月1日	広報紙「やすらぎ53号」発行	9月1日発行
	11月	文化祭への参加・協力	文化芸術展のみ開催
	2月1日	広報紙「やすらぎ54号」発行	
		合同視察研修	

※令和4年度事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できない場合がございます。

二中地区文化祭を終えて

館長 古谷 健一

「第36回二中地区文化祭」が11月13日から20日までの8日間開催されました。文化祭の実施内容については、8月に市民委員会役員会にて協議を行い、その時点での新型コロナウイルス感染症状況から、昨年に引き続き、文化芸術展のみを開催することになりました。

文化芸術展には、二中地区公民館を拠点として活動している同好会の皆様による、写真・絵画・面・獅子頭彫刻・手芸等、力作ぞろいで、会場を訪れた方にも大変好評でした。最終日には、ポップコーンや綿あめの販売、スーパーボールすくいなどのミニ縁日も開催し、多くの子ども達にも楽しんでいただきました。

文化祭や市民委員会などの各種事業は、感染防止の徹底が困難であることから、中止や縮小を余儀なくされております。一日も早く、各種事業がコロナ禍以前のように実施され、地域の皆様が気兼ねなく交流できる日が来ることを切に願います。

最後に、文化祭出展にご協力くださった同好会の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

後期公民館講座



おてがる！ 筋トレ・脳トレ講座



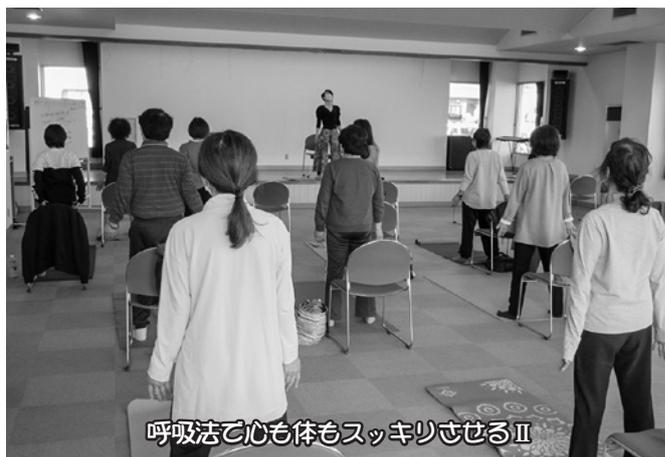
今から取り組もう！ 防災講座



やさしい透明水彩画



季節（秋・冬）のストレッチ



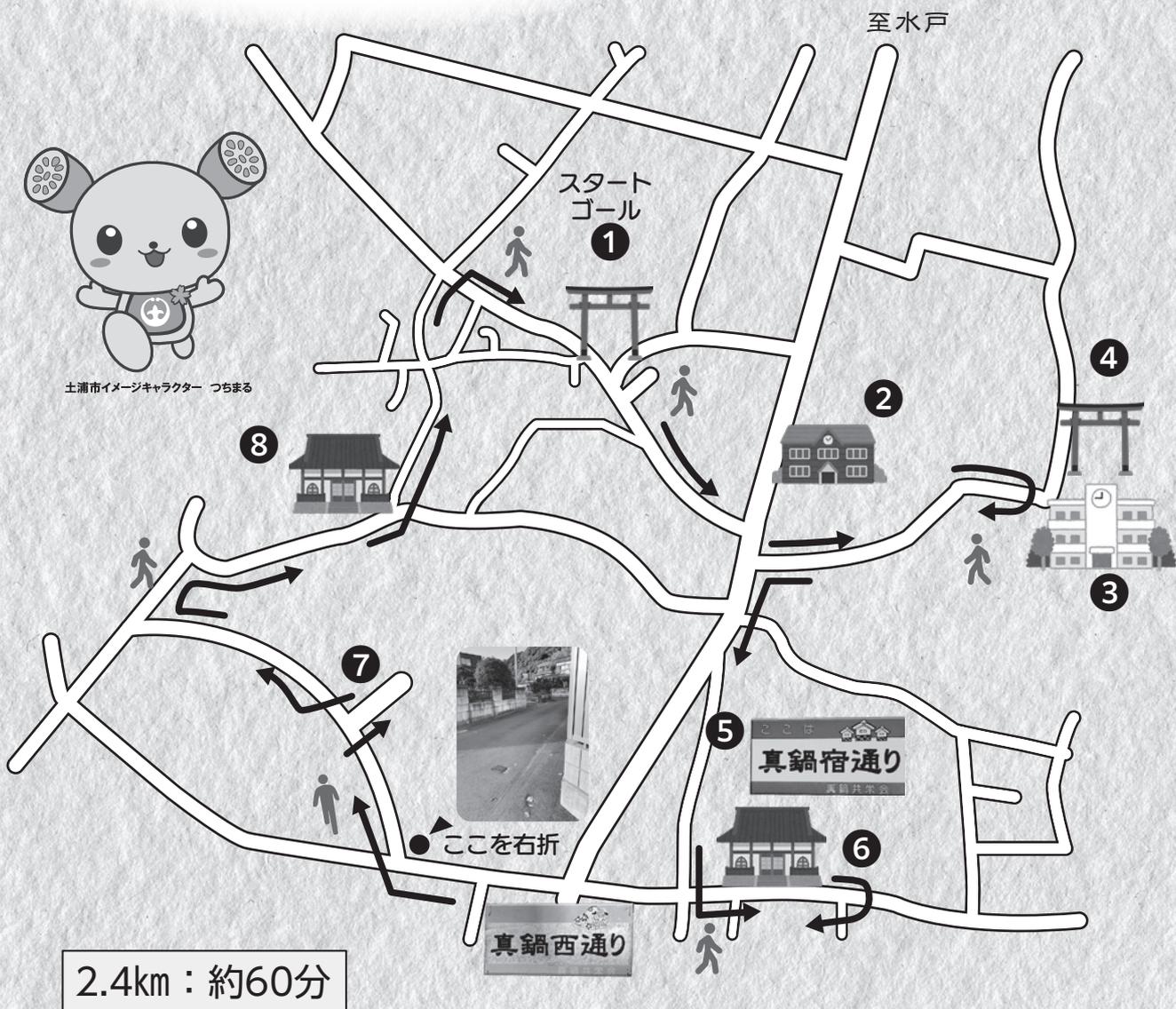
呼吸法で心も体もスッキリさせるⅡ

公民館講座のご案内

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせしてみてください。

名所・史跡さんぽ

真鍋さんぽ道



2.4km : 約60分

① スタート 八坂神社

② 土浦第一高等学校



③ 真鍋小学校



④ 鹿島神社

⑤ 真鍋宿通り

⑥ 善應寺 (観音堂・照井)



⑦ 一色家住宅
(右折がわかりにくい)



⑧ 宝寿寺

八坂神社でゴール

多所史跡の紹介

八坂神社 (真鍋五丁目)

真鍋台に鎮座し、江戸時代までは牛頭天王社(俗に天王様)と呼ばれ、土浦城の鎮守として、奉斎されてきました。

発見された棟札によれば土浦城主・土屋相模守政直が元禄13年(1700)に再建したことが判明しています。

所在地：真鍋五丁目9-1



①八坂神社



③真鍋小学校の桜

善應寺 (真鍋三丁目)

善應寺は真言宗の寺院で、寺伝によれば創建は江戸時代初期とされています。当寺は、寛文10年(1670)に土浦城主である土屋数直によって再興され、その後歴代城主によって保護を受けてきました。

所在地：真鍋三丁目12-1



⑥善應寺

【照井の井戸】

観音堂下にある泉の名で、臼井・鏡井ともいわれています。水量豊富で日照りにも衰えることなく、古くから街道を行きかう旅人や住民の飲料水となってきました。寛文10年に土屋数直によって土浦城までの間に

樋が埋設され、城内の上水道として用いられました。



⑥照井の井戸

一色家住宅 (西真鍋)

一色家は、武士で土浦藩主土屋家と縁戚関係にありました。明和3年(1766)に土屋家に取り立てられ、寛政6年(1794)家老に次ぐ年寄格に昇進し、300石を知行しました。



⑦一色家住宅



⑦一色家主屋

一色家住宅主屋は土浦市常名(現並木)新郭に造られた土浦藩士西川右近家の主屋を、明治時

代に範疇が居宅として現在地に移築したと伝えられています。土浦藩士の武家住宅としてその名残を留める貴重な建物として、平成13年(2001)9月に主屋201㎡が国登録文化財建造物となりました。現在は、土浦市に寄贈され今後の活用が検討されています。

真鍋西通りから右折する道がわかりにくいので、外観からも萱葺屋根を眺めることが可能です。現在は保存維持のため、庭はビニールシートで覆われておりますが、元の素晴らしい庭を眺められる日が期待されます。

所在地：西真鍋町10-4



同好会紹介

彩画会

会長 小室 徳子

二中地区公民館彩画同好会が発足して、まもなく30年。

活動は、毎月第2・第4金曜日、午後1時～4時まで。

時の流れは、早いもので、私も77才となり、数名の仲間も、同様な年齢に達し頑張っています。

絵を始めた理由は、リビングにそれを飾り、四季を感じ、楽しめたら、との思いでした。

いつしか会員同士『やめたら終わりよ』との声を掛け、励まし合ってきた気がします。毎年文化祭には、個性ある作品が並びます。昨年からは、新たな講師を迎え、さらに技法を学び続けようと思っています。



写壇NTS

会長 小野 丹生



私たち同好会は、二中地区公民館の写真講座から同好会として発足し、今年で26年になります。現存会員は16名で、また毎月初めの撮影会と月末の合評会を二中地区公民館で行い活動しています。

撮影会は年間のテーマを決めて行い、今年のテーマは、花の誘惑と農風情です。花はただ撮るのではなく、ボカシを入れ、農風情はパノラマでプリントしています。撮った写真はフォトショップでレタッチしプリントし合評会に提出しています。その他、会員同士がコミュニケーションをとり写真ライフを楽しんでいます。また写真に興味がある方の入会は大歓迎ですので、是非一度、合評会の様子を見に来て下さい。

のびのびストレッチ

会長 大久保 初江

「セラバンド」というゴムチューブを使って行う運動です。セラバンドトレーニングは、医療現場で機能回復訓練で先生が実践しておられます。体力に合わせ色分けされたゴムチューブで、自分のペースで無理なく、さまざまな角度から張り合う力を利用してすることで、日常あまり使われていない筋肉をほぐしながら筋力アップ、腰痛、肩こりが楽になり運動不足を解消します。脊柱管狭窄症・すべり症で歩くこともままならなかった私が、今ではハイキングまで行けるようになり、うそのような本当のお話です。



又、今高先生のお人柄・知識の豊富さ、ユーモアあふれる話術で、皆さんを笑わせ、和やかな雰囲気です。楽しく時間が過ぎます。ぜひ一度見学してみたいです。毎週火曜日、13時からです。

自力整体

会長 安達 久恵



私は、自力整体に出会ってからは、足の先から身体全体がポカポカと温かく冷えを忘れるくらいです。以前は、足の先が冷たくお風呂に入ってから布団に入っても足が冷たいまま朝になってしまいました。

自力整体は、自分自身が身体を動かすこと、足を伸ばす、腕を曲げる、伸ばす、回すなどします。先生の指示通り動かすことが出来ない動作もあります。少しずつ動かしています。すると身体が温かくなり眠気も感じ心地良いです。体が温かくなって来ると動きもスムーズになり最高ですね。友達も沢山でき、和気あいあいと自力整体を進めています。

チャレンジクラブの活動紹介

令和4年度チャレンジクラブの8月・9月・10月に行った活動を紹介します。



つくばエキスポセンターの入り口前で記念撮影

8月6日(土)の活動は、つくば市にある、つくばエキスポセンターを見学しました。

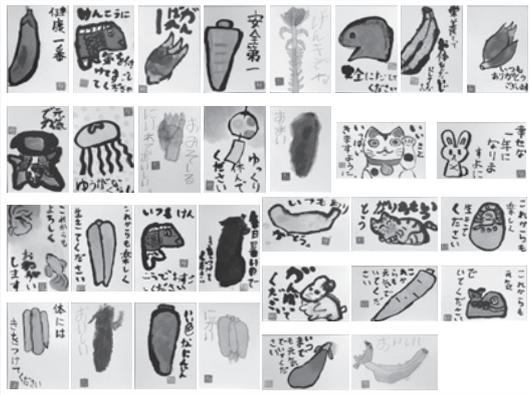
この日は特別に、つくば市の中学生や高校生が、来館者に自分たちの研究を発表したりする「EXPOサイエンスDAY」や、開催中の「音と遊ぼう♪ おとのゆうえんち」という企画展と関連したサイエンスショーも行われていました。見学の後、プラネタリウムの上映を楽しみました。夏の星座や太陽系の惑星、天の川銀河の中心に存在するであろうブラックホールについてのお話を聞きました。

9月3日(土)の活動は、北岡先生、畠先生にご指導いただき、絵手紙づくりに挑戦しました。

子どもたちは、はじめて取り組む子が多く、葉書の枠にモチーフの形をどう納めたらよいか苦労していました。

お年寄りの方々にプレゼントする作品作りでは、一人5枚を目標に作りました。文面には「いつもありがとう。」「健康に気をつけてすごしてください。」「といった、子どもたちのお年寄りのかたへの感謝の気持ち、優しい気持ちが見れた言葉が書かれていました。

できあがった作品は、二中地区にお住まいのお年寄りの方々にプレゼントされました。



子どもたちの力作です



大洗水族館の入り口を入ったところで記念撮影

10月16日(日)の活動は、大洗町にあります大洗水族館を見学しました。

子どもたちは、8つのゾーンを1つずつ巡りながら、大きな水槽を悠々と泳ぐ大きなサメや何百匹というイワシの群れ、優雅に水中を漂うたくさんのクラゲ、ユーモラスな泳ぎかたのマンボウなど、いろいろな種類、たくさんの数の魚、海や川の生き物を観察しながら、ワークシートのカイズに答えていきました。

子どもたちは、見学の後、オーシャンデッキなどで、班でまとまってお昼を食べました。食事が終わった班から、もう一度見たい魚の水槽のところに行ったりしました。

青少年育成部の皆様には、毎回、子どもたちへのご指導・ご支援をいただきました。誠に、ありがとうございました。



新着図書紹介

同志少女よ敵を撃て 逢坂 冬馬
マスカレード・ゲーム 東野 圭吾
夜に星を放つ 窪 美澄
おいしいごはんが 食べられますように 高瀬 隼子

奇跡 林 真理子
80歳の壁 和田 秀樹
子宝船―きたきた捕物帖(二) 宮部みゆき

正欲 朝井リョウ
硝子の塔の殺人 知念実希人
競争の番人 新川 帆立

87歳古い団地で愉しむ 多良美智子
ひとり暮らし おうちで作ろう!

PPバンドとクラフトバンドの 松田 裕美
かご・バック・小物

新版 ずっとやりたかったことを やりなさい ジュリア・キャメロン
漫画バビロン大富豪の教え「お金」と 「幸せ」を生み出す5つの黄金法則

ジョージ・S・クレイソン
パンダ銭湯

t u p e r a t u p e r a



町内ウォッチング

真鍋六丁目

3年ぶりのお神輿渡御

高野 祐一

令和4年8月25日、真鍋のお祭り「鹿島神社例大祭」が行われました。真鍋六丁目が当番町で、本祭の儀（神事）に併せて、3年ぶりのお神輿渡御を行いました。新型コロナウイルス感染症防止のため、令和2年、3年は、本祭の儀のみでした。

真鍋のお祭りは、真鍋9町内により毎年8月に行われています。通常、当番町内に御仮殿を設置、鹿島神社と御仮殿を2日間往来するお神輿の渡御祭・還御祭、加えて、神賑行事（余興）として獅子車や山車の巡行が3日間行われます。

今回も、当初は神社での本祭の儀のみの予定でしたが、感染防止対策を講じ、お神輿をトラックに載せて神社から真鍋六丁目公民館への渡御・還御行列を行いました。行列は、先導者、天狗、太鼓、お神輿（トラック積載）、お神輿



渡御祭行列 土浦一高前



六丁目公民館でお神輿担ぎ



お神輿係鹿島神社にて



獅子、囃子係勢揃い

係、宮司・神官、各町氏子総代・地区長、真鍋9町内約60人の参列でした。

今回も余興は中止となりましたが、六丁目公民館でお神輿行列を迎えるため、昭和会（青年会）を主体に獅子車を準備し、囃子、獅子舞を披露しました。また、富士見会（敬老会）を主体に接待を行いました。

当番町の準備のため、一昨年の4月から余興委員長の選出、令和元年当番町真鍋二丁目及び令和3年当番町真鍋五丁目のヒアリング、令和3年の例大祭の準備状況・本祭の儀の記録を行い、真鍋六丁目町会、各種団体の協力を得て、当番町の務めを果たせました。

振り返りますと、昭和50年5月に真鍋六丁目誕生、同53年の獅子車初参加により、真鍋四・五・六丁目合同で初めて当番町を務めました。同年の真鍋連合青年大会の発足により、9町内の申し合わせにより行う今の形になり、六丁目も令和4年で6回目の当番町となりました。五穀豊穡、無病息

災、家内安全等を祈願し、お神輿、獅子車、山車が練り歩くわけですが、人と人、地域、町と町をつなぐ祭礼の意義は大きいと思います。

六丁目の祭礼の始まりの一端を紹介すると、獅子は石岡と同じ顔の関東風権九郎獅子です。獅子は昭和60年頃、子供たちも獅子を振りたいたの要望で製作しました。それまでは、ポリ容器等で子供たちの獅子振り練習を行いました。獅子は音階がありませんので、石岡の囃子をテープに取り、当時の土浦二中の音楽担当の先生に六丁目独特の力強い調子にアレンジしてもらい、権九郎獅子が出来上がりました。その時の子供たちが代々囃子、獅子係長として世代交代を行い、子供たちの指導に当たってきました。これからも六丁目の合言葉「住んで良かった、これからも住んで居たい」を持続し、町づくり、人づくりの原点を忘れずに、祭りの確立・継承を進めて行つて下さい。

編集部コラム

土浦花火

成功を当たり前に

去る11月5日、3年ぶりとなる土浦全国花火競技大会が行われた。コロナ対策に加え、直前に韓国で雑踏事故があったこともあり、安全対策も入念に行われたことであろう。当日の天候も花火には絶好で、成功といえる大会だったのではないかと。私も久しぶりに、土浦の花火」を存分に楽しんだ気がする。

忘れてならないのは、2018年と19年の大会で観客がけがをする事故があり、途中で打ち切りになったことだ。2年連続の事故で、大会への信頼が損なわれ、大会自体の存続の危機だったに違いない。このため、20年の大会は、主催者は背水の思いで臨むことになるはずであったろう。それが、コロナの影響で、その後2年間の中止を余儀なくされた。これは、もしかしたら、大会イメージの回復や、安全対策の検討には幸運に働いたかもしれない。いずれにしても、様々な安全対策を行い、今回は成功させることができただのだと思う。花火大会で事故が起きないことは当たり前である。今回の成功を当たり前に変え、末永く「土浦の花火」を楽しませてほしい。

